HITACHI
Inspire the Next

緊急地震速報システム

より確かに！より早く！組み込み型緊急地震速報システム

緊急地震速報で得られる貴重な数秒間を有効かつ確実に活用するため、
PCレスで24時間連続運転可能な信頼性の高い組み込み型専用ハードウェアを採用した
緊急地震速報システムをご紹介いたします。

高い処理性能

サーバで演算処理する方式ではなく、設置場所（通知装置）で分散処理を行うため、高い処理性能を実現しています。

高い信頼性

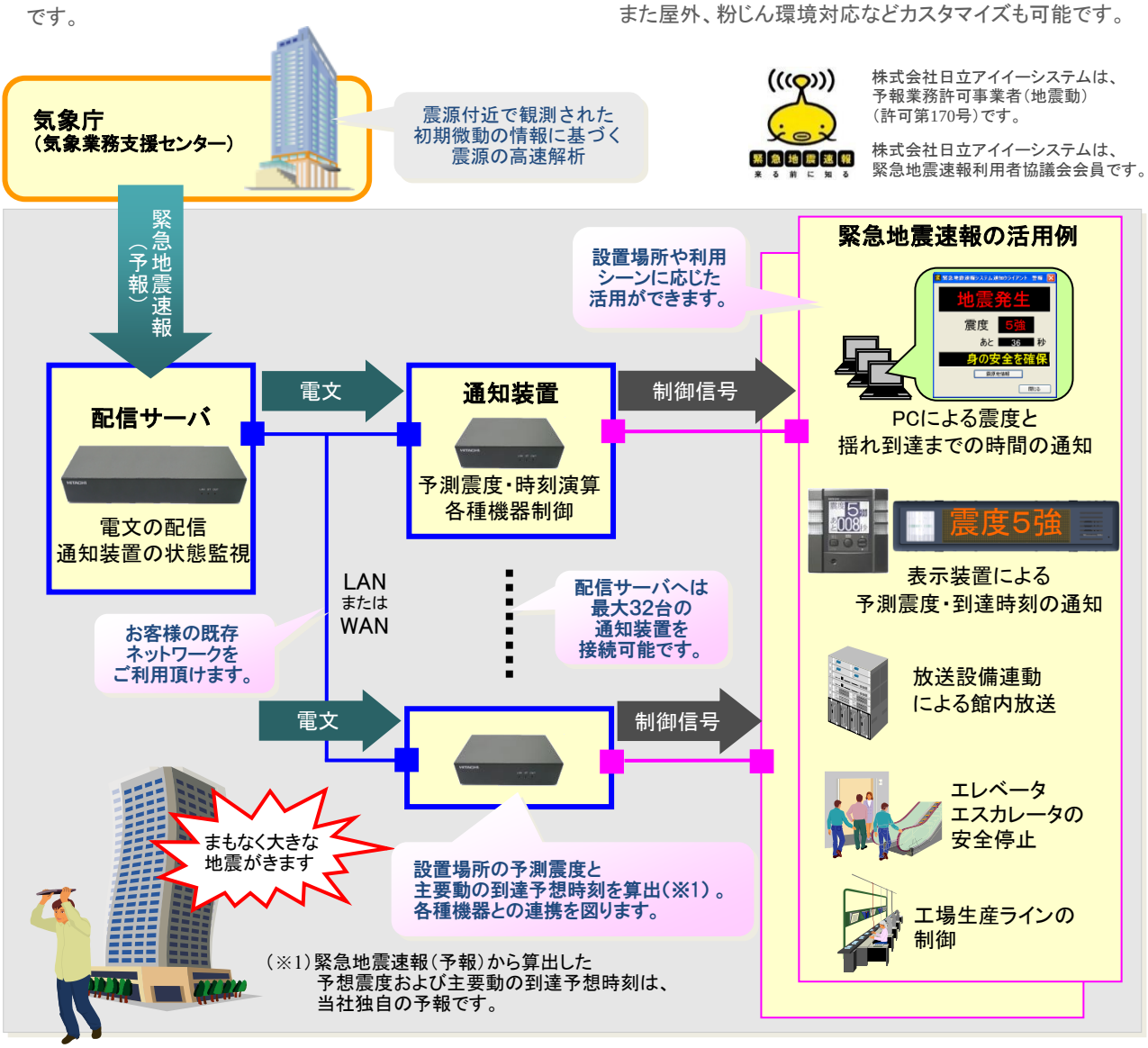
マイコン組み込み型専用ハードを採用し、24時間連続運転可能です。突然の停電時も復電後に自動再起動します。ファンレス・ディスクレスで低故障率を実現しています。

ランニングコストの削減と容易な拡張性

1台の配信サーバに多数の通知装置の接続が可能です。増設時は、通知装置を設置するだけで運用が可能です。

柔軟なカスタマイズが可能

利用シーンに合わせ各種装置や設備と連携接続可能です。PCレスで運用できる小型の装置です。
また屋外、粉じん環境対応などカスタマイズも可能です。

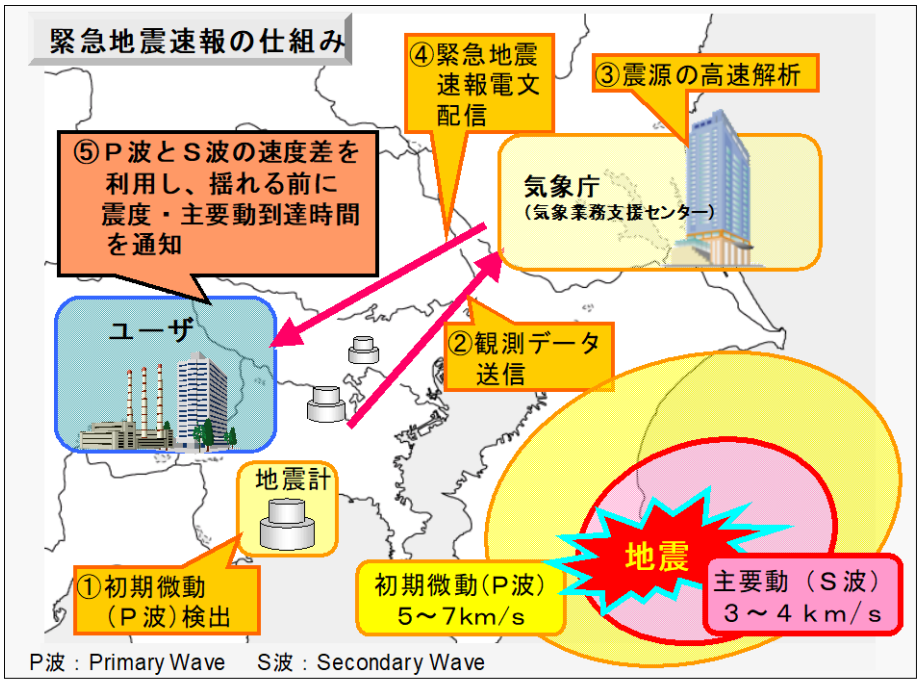


緊急地震速報
来る前に知る

株式会社日立アイイーシステムは、
予報業務許可事業者（地震動）
（許可第170号）です。

株式会社日立アイイーシステムは、
緊急地震速報利用者協議会会員です。

株式会社 日立アイイーシステム



予想震度および主要動の到達予想時刻の算出には、
エーアイテクノロジー株式会社（予報業務許可第160号）の演算プログラムを使用しています。

緊急地震速報は、気象庁が発表する情報で、地震が発生した際に、震源に近い地震計で捉えた初期微動（P波：伝播速度 約7km/s）の観測データを解析し、震源や地震の規模（マグニチュード）を推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、大きな揺れ（主要動）（S波：伝播速度 約4km/s）が到達する前に、可能な限り素早く知らせる情報です。

この情報を利用することにより、列車やエレベータを素早く制御して危険を回避したり、工場、オフィス、家庭などで避難行動をとったりすることによって地震による被害を軽減することが期待されます。ただし、緊急地震速報には、情報を発表してから主要動が到達するまでの時間が、長くても十数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは情報が間に合わないことがあります。また、震源データだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。緊急地震速報を適切に活用するためには、このような特性や限界を十分に理解する必要があります。

（緊急地震速報利用者協議会
「緊急地震速報に関する知識」より抜粋）

装置外観

配信サーバ

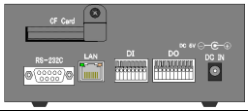
正面

背面

通知装置

正面

背面



装置名称		緊急地震速報　配信サーバ	緊急地震速報　通知装置
型式		IE-NDC0020-100EWS	IE-NDC0220-100EWR
外形寸法		W230×D100×H42（mm）	W148×D100×H63（mm）
質量		約　1.0　kg以下	約　1.0　kg以下
電源		DC5V（ACアダプタ供給）	DC5V（ACアダプタ供給）
使用環境条件	動作時	温度5～40℃　湿度20～85%（但し、結露しないこと）	
	非動作時	温度-10～60℃　湿度20～85%(但し、結露しないこと)	
状態表示LED	POW	電源状態　電源オン（緑）/電源オフ（消灯）	
	LAN	通信状態　未接続（消灯）/接続（緑）/データ送受信（橙）	
	ST	装置状態　消灯/緑/橙/赤	
外部メモリ		コンパクトフラッシュ(1GB)	コンパクトフラッシュ(1GB) 気象庁から提供される地盤増幅度、走時表を格納
通信ポート	LAN	IEEE802.3準拠 10BASE-T 半二重　RJ45　8ピン	
	シリアル		RS-232C準拠　Dsub9ピン（メス）×1ポート
接点出力			リレー接点×4　24VDC 1A max

株式会社 日立アイイーシステム
https://www.hitachi-ie.jp

会社概要　製品詳細

●本カタログに記載の内容は予告なく変更することがあります。

HIE-102　2024.06
Printed in Japan